

航空自衛隊那覇基地所属の F-15 戦闘機の相次ぐトラブル発生に抗議し、那覇空港の民間専用化の実現を求める抗議決議

航空自衛隊那覇基地所属の F-15 戦闘機が 9 月 16 日深夜、米軍嘉手納基地へ緊急着陸するトラブルが発生した。

同基地所属の F-15 戦闘機については、8 月 18 日に那覇空港の滑走路上で走行不能となる事故が発生し、9 月 10 日には同空港への緊急着陸事案も発生したばかりであり、短期間にトラブルが相次いで発生している。

これらの事故及びトラブルは、自衛隊機と民間航空機が使用する軍民共用の那覇空港の構造的な危険性を改めて浮き彫りにするものであり、市民・県民はもとより、本県を訪れる観光客や空港利用者に大きな不安を与えている。

同基地所属機に関する事故やトラブルはこれまでも繰り返し発生しており、本市議会は、市民、県民及び空港利用者の生命と安全を守る立場から、那覇空港の軍民共用の危険性を指摘し、その改善や民間専用化等を求める意見書をこれまで 17 回可決してきた。

しかしながら、政府が軍民共用に伴う那覇空港の安全確保について抜本的な対策を講じてきたとは言い難く、今回のトラブル発生を極めて重く受け止めるべきである。

那覇空港は、2025 年度の利用者数（速報値）は 1 日平均約 6 万 4,000 人、年間で 2,346 万人に達するなど、県民の生活、観光、物流及び経済活動を支える極めて重要な拠点施設であり、沖縄の発展と県民生活を支える大動脈となっている。

その那覇空港において自衛隊機の事故やトラブルが相次ぐことは、過密化する空港運用の中で一步間違えば重大事故につながりかねず、県民及び利用者の生命と安全はもとより、本県の観光産業や経済活動にも深刻な影響を及ぼすものであり、到底看過することはできない。

よって、那覇市議会は、航空自衛隊那覇基地所属の F-15 戦闘機の相次ぐトラブル発生に厳重に抗議するとともに、政府及び関係機関に対し、下記の事項を強く要請する。

記

1. 原因究明と安全対策が確立するまで、同型機の飛行を停止すること。
2. F-15 戦闘機をはじめとする自衛隊機の総点検を実施し、実効性のある再発防止策を講ずること。
3. 過密化する那覇空港における米軍機の使用を認めないこと。
4. 民間航空機利用者及び県民の安全確保並びに沖縄の観光及び経済の発展のため、那覇空港の民間専用を実現すること。

以上、決議する。

令和 8 年（2026 年）9 月 28 日

那覇市議会

あて先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、国土交通大臣

防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、航空自衛隊第 9 航空団司令兼那覇基地司令